

<教育内容>

☆教育理念

北海道立網走高等看護学院は、看護専門職者として生命の尊厳を重んじる倫理観と人間をかけがえのない存在として尊重できる豊かな人間性を培い、道東、道北の保健医療に貢献する人材を育成することを目的とする。

本学院では、看護を、自ら健康の保持・増進・回復ができ、また、その人らしい人生をまっとうできるよう、対象とともに、対象がもてる能力を最大限に発揮する働きかけであるととらえた。

看護基礎教育は、看護専門職としての倫理観や責任感をもち、専門的知識・技術・態度を習得し、さらに安全で質の高い看護実践能力を身につけ保健医療福祉システムの中で連携・協働し、生涯を通じて自己研鑽し看護の発展に貢献できる人材を育成する。

学生は、准看護師の資格をもつと同時に、様々な背景を有している。そして、より専門的に看護の学習に取り組もうとする存在である。教育にあたっては、学生が主体的に学習できるよう学生の個別性を尊重し、自己効力感を高めることを支援する。

これらを実現するために教育者は、自らも学習者として研鑽し、学生とともに学び成長していくことを目指す。

☆教育目的

准看護師教育で学んだことを基礎に、看護専門職者として必要な倫理観と責任感をもち、専門的知識・技術・態度を習得し、地域の保健医療と看護の発展に貢献できる人材を育成する。

☆教育目標

- 1 人間を多様な文化・価値観をもつ存在として理解し、看護専門職者として生命の尊厳を重んじる倫理観と人間をかけがえのない存在として尊重する態度を養う。
- 2 科学的根拠に基づき論理的に思考・判断し、安全で質の高い看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 3 広い視野で社会の変化をとらえ、保健医療福祉システムの中で看護の役割と責任を果たす基礎的能力を養う。
- 4 看護専門職者として社会貢献や看護の発展のために主体的に学び続ける能力、研究的姿勢を養う。